

1. 活動報告（事務局 記）

—3月2日（日）維持活動は新入会員の河本さんを含め15名で行いました。

① ハス田のエコアップ（カヤツリ草・アシカキ草の駆除とコウ骨の間引き）を徹底的に行いました。

②市道と水路間の雑木を伐採処理しました。

—3月4日（火）山大工学部の学生3名が福岡の大学のビオトープ研究会6名を連れてビオトープへ見学に來られました。大学内に水辺ビオトープを作っているそうで、いろいろと話し合いをしました。管・原谷会員が対応しました。

—3月9日（日）①元ネイチャーゲームの会の活動があり20数名で自然観察会をされました。

②前田会員による湿地帯のエコアップ（タテバチドメクサ）

③善和の伊藤さんから物置の寄贈があり、運搬・仮置きしました。
渡邊・吉富・原田会員で行いました。

—3月15日（土）山大工学部の会員外の2名の応援もあり16名の参加でした。

①昨日吹き荒れて落ち葉が多量に溝をせき止めたので溝浚えから行いました。

②エコアップは湿地帯のスゲの間引きを行いました。21日に行われる環境展示会での出し物（外来種を含む）ビオトープに生態する植物の採取も行いました。

③寄贈いただいたヨドコウ物置の組立てを午後も行い、夕方に完成しました。

—3月22日（土）連絡が悪かったのか、7名の参加でした。

①エコアップ（湿地帯のスゲ間引き）

②物置の整理（新倉庫への移動）

③蓮田のシガラ補修

2. 今後の予定（事務局 記）

◎見学者

予定はありません。

◎行 事

—4月5日（土）総会（平成26年度）

—4月19日（土）親子自然観察隊（食べられる野草）

3. 来訪者の声

今月はありません。

4. 会員の声【二俣瀬の史跡案内】 (原田満洲夫 記)

二俣瀬のまちづくりサークルの世話人を兼ねていますのでアピールするためおしらせします。

第二次世界大戦末期に日本の国土いたるところで主に米軍の空爆が行われました。軍事設備以外の無差別爆撃になり陸軍も保持している弾薬も出来るだけ田舎の爆撃を受けないところに移転しようと候補地を選び当二俣瀬の木田の奥まった厚東村(当時)の立熊との境あたりに、この弾薬庫を移転しました。昭和5～6年生まれの当時中学生が学徒動員で駆り出され弾薬の一部の格納に一役駆ったとの話を聞き及んでいます。さらには終戦後GHQの査察もあり弾薬は排除されたが残った木箱等は二俣瀬小学校の機材にすべく持ち帰ったと当時6年生であった内藤武顕会員も思い出して話しておられました。

序文が長くなりましたが本題に入ります。この通称「立熊の弾薬庫跡」(実際は二俣瀬村の木田にあり)の記憶を残すためわれわれ「二俣瀬まちづくりサークル」が弾薬庫跡地と5ヶ所の防空壕周辺の環境整備を行って、いつでも観察が出来るようにしました。

会員のみなさまで関心のある方はご案内いたしますのでお知らせください。場所は宇部丸山ダムと宇部第一病院の間に瓜生野・立熊道路を約2km西に行った右側にあります。丸山ダム周遊の道の北端からは徒歩の方が無難でしょうか？

5. ビオトープ関連：「山口県のトンボたち」 （管 哲郎 記）

(15) セスジイトトンボ *Paracercion hieroblypticum*

イトトンボ科 *Coenagrionidae* Munz

＜クロイトトンボ属＞ *Paracercion caramorum caramorum*

全長30mm～40mmほどのイトトンボとしては平均的な大きさですが、「ムスジイトトンボ」というそっくりさんがおり、間違えやすいイトトンボです。県内ではどちらかといえば”ムスジイトトンボ”の方が多いため、セスジイトトンボは筆者にとっても貴重なトンボとなっています。

見分け方としては、目の後部に白い紋（眼後紋（がんこうもん））の大きさを判断するのが一般的です。

大きい方がセスジイトトンボ、小さい方がムスジイトトンボとされています。

ほぼ全国的に見られ、5月上旬より出現し、10月ごろまで見られますが、やはり6月～9月ごろに多く見られます。植生豊かで流れの緩やかな川や池や水路、湖などにも棲息します。県内では阿知須の干拓地帯や深溝地区の水路などに見られますが、それ以外では阿東町のため池くらいでしかお目にかかっています。山陽小野田市の厚狭、津布田の干拓地、大田川（厚東川）中流部などで昔みられていましたが、現在では発見できていません。貴重なトンボとなりつつあります。



セスジイトトンボ (♂)



セスジイトトンボ (♀)



ムスジイトトンボの眼後紋



セスジイトトンボの眼後紋

6. 会よりの連絡事項（事務局より）

- (1) 今年も「フジとキララ子どもエコクラブ」の活動の一環をビオトープで行ないたいと吉富由紀子さんから連絡が入りました。引き受けについてはOKしましたが、4月の総会時に詳しく話せるよう連絡を取り合います。
- (2) 善和の伊藤安之さんより 大きなイナバの物置を寄贈していただきました。工具・観察機材・他備品を振り分けて大事に使いたいと思います。月末には鍵が届きます。

7. 編集後記

昨日、ビオトープのエコアップ作業をしましたら、池の中や田んぼの隅にカエルの卵をたくさん見つけました。気の早いオタマジャクシは、もう孵化して泳ぎ回っていました。春は確実にやってきています。

東日本大震災から3年が過ぎました。東北にも春が訪れていることと思います。冬枯れの台地が春になると一斉に芽吹くように、東北の地もきっと再生すると信じています。

（ 中本 亜矢子 記 ）